

「もっと開かれた もっと関われる もっとつながれる 文化が生きるまち」を基本理念とし、それを元に**3**つの柱、**6**つの目標、**12**の施策を定めました。



人々の価値観が多様化し、「心の豊かさ」や「文化」の重要性が高まっている昨今。市では**まちの進化論「武雄市文化のまちづくり構想」**を策定し、文化をきっかけとした新たなまちづくりに着手していきます。文化のまちづくり構想とは？文化で変わる未来とは？皆さんの疑問にお答えします。

## 武雄市文化のまちづくり構想 体系図

### 基本理念

「もっと/  
開かれた

「もっと/  
関われる

「もっと/  
つながれる

文化が生きるまち

柱

1

成長する文化づくり

目標 1

オープンな(開かれた)文化づくり

施策

- 1 文化がもっと身近になるきっかけづくり
- 2 気軽な文化活動の場づくり

目標 2

フラットな(参加しやすい)文化づくり

施策

- 3 文化(活動)のバリアフリー化
- 4 伝わる情報発信と共有

柱

2

文化に関わる人づくり

目標 3

主人公となる人づくり

施策

- 5 主体的に文化に関わる環境づくり
- 6 地域や学校での文化教育の推進

目標 4

サポーターとなる人づくり

施策

- 7 文化を育てる人づくり
- 8 文化を支える人づくり

柱

3

文化によるまちのにぎわいづくり

目標 5

地域資源を活かしたまちづくり

施策

- 9 地域固有の文化の継承と活用
- 10 文化を軸とし活かしたにぎわいづくり

目標 6

文化でまちと人をつなぐ未来づくり

施策

- 11 文化をきっかけにした交流の促進
- 12 西九州における文化交流の拠点化

「この構想では文化を広く捉えていきます」

これまでの文化を大切にしつつ新しい要素を取り込んで成長し、広がっていくことで新しい文化が生まれるイメージです。

これからの文化 = 「親しみやすい」「身近な」「まちの活力」を目指します。



さらに詳しい情報は次のページへ

## 文化から新たなまちづくりへ

市民の疑問

## まちの進化論「武雄市文化のまちづくり構想」ってなあに!?

みんなで文化の木(※1)を育てていく目標になるものです。

文化をキーワードにした新たなまちづくりによって目指すまちの姿や、今後取り組む目標を示しています。市民を代表する武雄市文化のまちづくりデザイン会議(※2)において議論を重ねて構想の内容を決定しました。市民の皆さんが担い手となって今年度からの10年間で取り組んでいきます。



「お答えします!」

会長  
山口 夕妃子  
佐賀大学  
芸術地域デザイン学部  
教授

※2 武雄市文化のまちづくりデザイン会議とは??

文化を活かしたまちづくりについて検討を行った有識者会議です。文化・観光・商工・食・陶芸関係者など16名で7回にわたり議論を重ねました。

「わたしたちが考えました!」



※1 文化の木とは?

新たなまちづくりのシンボル。「多様性」「自由さ」「変化」を受け入れ、成長し続ける仮想の木。その木を市民自らの手で育てていくことでまちが進化していくことをイメージしています。これまでの文化同士や新たな要素との掛け合わせで新しい文化が生まれ、たくさんの人が関わり合い、市全域に活気とにぎわいが生まれる、文化が生きるまちを目標としています。

